

さくらそう通信 NO 3

日本さくらそう友の会 4.11

やっと桜が咲き始めました。菜種梅雨の下で咲く桜は可哀そう。さて、さくらそうの開花を首長くしてまっています。庭で「からふね 唐船」と「ときのひな（朱鷺の雛）」そして「花車」が開きました。例年より2週間位遅いのです。

河崎さんより

“目、ショボショボ。鼻、クシュクシュ” 毎年、芽分けの時期は花粉症になやまされながらの一大作業。この植え込み作業はさくらそう独特の「追いまわし」という。

5号鉢を使う場合は、4芽位を鉢の縁に円を描くように沿わせて植え付けます。一般の草花のように鉢の中央に苗を置いて、土をかぶせて、ハイ終わりというわけにはいきません。

そんな訳で一週間かけて花粉症、いえ さくらそうと今年も闘いました。

早咲き種もありますが一般的には桜が散った頃から咲き始めます。改良種のでやかさも魅力ですが、原種に近いものは、桜の花形を写したような花色を咲かせ、真にさくらそうです。

いよいよ待ち焦がれた開花の時期がやってきました。気温は上がり、日照時間も長くなるので、ぐんぐん成長します。 **水やり、肥料、除草**に注意しましょう。

雨の中カタクリが開きました。 右は唐船

